

車部品メーカー海外展開

コスト減・情報収集を

自動車部品メーカーの海外進出の方策を採る有識者会議(委員長 沢俊行広島大産学・

地域連携センター長)が7日、広島市中区の鯉城会館であった。昨年11月にインドとタイの自動車産業を調査したメンバーが市場動向を説明し、コスト低減や情報収集の重要性について話し合った。

中国経済産業局が呼び掛け、マツダやトヨタ自動車などの自動車メーカー、中国地方の部品メーカー、大学などから34人が出席した。調査団のメンバーが、インドのタタ自動車や日系部品メーカーの工場、タイにあるマツダの合弁工場などの

視察結果を報告した。インドの自動車産業

に詳しい東京大大学院経済学研究科の伊藤洋

で議
会者
島者
有識
広

特任研究員は、インドの岩城富士大センターが欧州やアフリカに向けた輸出拠点となってきていることなどを説明した。団長を務めたカーエレクトロニクス推進センター(広島市中区)の意見交換では、自動車などの情報を提供する

「適度な飲酒」は？
爪遺伝子で判定

イービーエスが新サービス



飲酒による体への影響を調べる検査キットと分析レポート

アルコール分解能力など 体への影響分析

調剤薬局運営などのイービーエス(広島市安佐南区)は、爪の遺伝子を基に飲酒による体への影響を調べるサービスを始めた。アルコールを分解する酵素などの能力と、顔を赤くしたり気が悪くなったりする物質アセトアルデヒドを分解

利用者はアルコール感受性遺伝子検査キットを購入し、爪を切って同社に郵送する。同社の検査所で分析結果により9タイプに分類する。例えば「アルコール分解する力は弱い」と話す。

約1週間後に郵送で届く。適度な飲酒に役立ててほしい」と話す。同社は爪を分析して肥満遺伝子を調べるキットを2006年に発売し、約1万本を販売している。

部長は「特に若い人に自